

Array Gattino Essential



HIS/RISゲートウェイ

UI上ですべての設定ができる、MWMサーバーのスタンダードモデル

Gattino Essential

さまざまなデータソースから検査情報を最適な形式に自動変換し、
必要なモダリティに届けるGattino。

Essentialでは機能を患者情報のみに限定し、UI上ですべての設定をできるようにしました。
MWMサーバーをアドミニストレーター画面上の設定だけで簡単に構築することが可能で、
使いやすく快適な環境を実現。

モダリティへの患者情報の配信はGattino Essentialにお任せください。



HOW TO USE

CSVファイルから患者情報を取り出し モダリティへ送信する

Gattino EssentialはCSV形式のデータに対応しています。アドミニストレーター画面上で、どのカラムにどのような情報が入っているかを設定するだけで、情報を自動的に適した形式に変換して保存します。

患者IDなどを条件とするモダリティからの検索に対し、合致する患者情報を返信します。

患者名のローマ字・半角カタカナ・全角ひらがなの相互変換、日付形式の変換、性別コードの変換もサポートします。

The screenshot shows a window titled "Gattino Essential 患者情報". It contains the following fields:

- 患者ID: A text box containing "*****".
- 患者名: "*** ** 様".
- 生年月日: "****年*月*日".
- 性別: "男性".

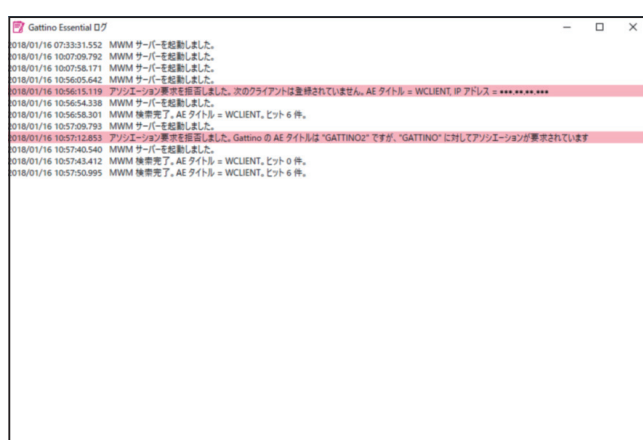
電子カルテからの情報を利用し、 磁気カードで患者を絞り込む

Gattino Essentialは主要ベンダーの電子カルテによるソケット通信に対応可能です。

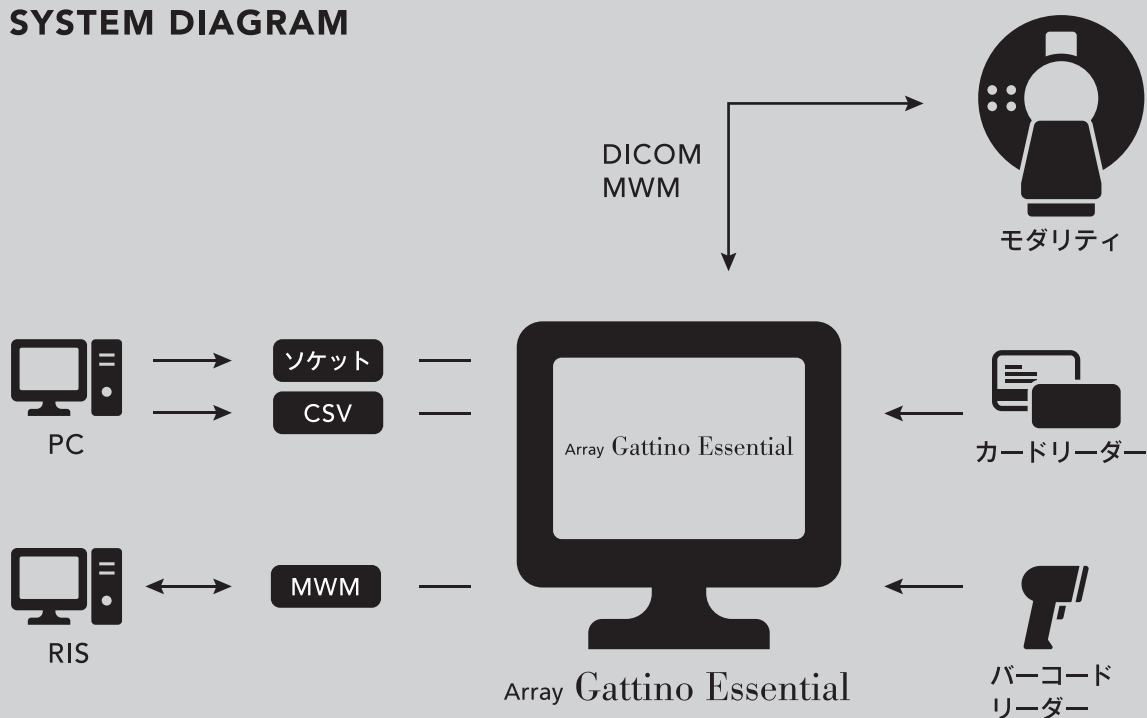
ソケット通信で送られてくる患者情報を保存しておき、磁気カードの患者IDに合致する患者情報のみを選択状態にして、モダリティへ送信します。

選択されている患者の情報は画面上に表示されます。

これにより、モダリティ端末上で患者IDを入力する手間がなくなります。



SYSTEM DIAGRAM



機能・特徴

DICOM Modality Worklist Management SCU/SCP

DICOM Verification SCU/SCP

サポートする形式

・CSVファイル

・ソケット通信 (主要ベンダーの電子カルテに対応可能)

・外部MWMサーバー

サポートする患者絞り込み手段

・磁気カード

・バーコード

アドミニストレーターによる一元的な設定・管理

絞り込まれた患者情報の表示

ログ表示

動作環境

OS: Windows 11 Pro

Windows Server 2016 Standard

メモリ: 8GB以上

ストレージ容量: 100GB以上

CPU: Core i3以上

モニター: SXGA (1280×1024) 以上

USBポート: USB2.0以上×1ポート使用 (磁気カードリーダーまたはバーコードリーダー使用時)



アレイ株式会社

151-0053 東京都渋谷区代々木3-42-10 tel.03-3320-3911 / fax.03-3320-3696 / sales@array.co.jp / www.array.co.jp

© 2018–2026 Array Corporation

Array Gattino Essentialロゴ、Array Corporationロゴはアレイ株式会社の商標です。

この資料に記載されている会社、製品、サービスの名称は各社の商標または登録商標です。

この資料の記載内容は2026年4月現在のものです。この資料に記載された内容、製品の仕様などは予告なく変更することがあります。